

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：中国地方整備局道路部地域道路課

担当課長名：高橋 広幸

事業名	一般県道倉敷総社線		事業区分	地方道	事業主体	岡山県
起終点	自：岡山県倉敷市平田 至：岡山県総社市清音三因				延長	3.7 km
事業概要	倉敷総社線は倉敷市浜ノ茶屋より総社市中央2丁目に至る延長約8 kmの路線である。当路線は倉敷市中心部と総社市中心部を接続しており、両地域の地域間連携強化を図るため2車線改良を行うものである。					
H10年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H10年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費	47億円		事業進捗率	66%	供用済延長	—km
計画交通量	4,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 11.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 13/52億円 事業費：11/50億円 維持管理費：1.6/1.6億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 151/151億円 走行時間短縮便益：142/142億円 走行費用減少便益：8.9/8.9億円 交通事故減少便益：0.66/0.66億円	基準年 平成19年		
感度分析の結果	残事業について、感度分析を実施 交通量変動：B/C=13.2(+10%)～10.1(-10%)、事業費変動：B/C=10.8(+10%)～12.9(-10%)、 事業期間変動：B/C=11.3(+20%)～12.3(-20%)、割引率変動：B/C=10.2(+1%)～13.8(-1%)					
事業の効果等	倉敷市中心部と総社市中心部の地域間連携強化、川崎医科大学付属病院高度救命救急センター（三次医療施設）へのアクセス向上が見込まれる。					
関係する地方公共団体等の意見	倉敷市と総社市から両市の連携強化に資する本事業の整備促進が期待されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等	旧清音村側より用地買収済箇所の工事に着手している。今後も、順次工事を進めていく予定。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後も関係機関と調整を図り、平成20年代前半の全線供用を目標としている。					
施設の構造や工法の変更等	建設副産物の発生抑制や再生資源利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。